

こんにちは、ふじみ薬局の高橋のぶとです。

先日、ササヘルス工場（長野県茅野市）の見学に行ってきました！率直に感じたのは従業員さん達の「商品に対する愛情がスゴイ！」ということ。製品の品質管理や衛生管理はとってもとっても大事なことですが、いまの時代では当たり前ですよね。

そんなことより！

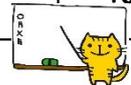


ササヘルス 20ml にクマ笹 300 枚

みなさんのササヘルスへの愛情がスゴイ！こっちが嬉しくなるくらいに自社商品を愛しているのがヒシヒシと伝わってきました。商品に自信と誇りがあるからこそ、愛せるのでしょよね。先日の大和酵素さん然り、今回の大和生物研究所さん然り、工場を見学させてもらおうとその会社の『想い』を感じますね。ますます好きになりました。ササヘルスをたくっぶり入れたお風呂（超せいたく）に入れたせてもらい、長野のおいしいご飯とおいしいお酒も頂き、とてもとても勉強になりました、感謝。

さて、私達が山に入って狩らせてもらったクマ笹が先日無事「ササヘルス」となってふじみ薬局に届きました！いま店頭に並んでいるササヘルスはとっても貴重なササヘルスです。

いつもと味が違うかも！（笑）
□内炎から便秘まで。粘膜全体の炎症に特におすすめです。
病院のお薬を飲んでいても安心して飲み頂けます。



【 病院の漢方薬 と 漢方薬局の漢方薬 】

前回「漢方薬の効き目に関する誤解」を書かせていただきました。

今回は『漢方薬局の漢方薬と病院の漢方薬の違いについて』です。

病院でもらえば保険が適応されてとても安く手に入りますが、ご存知のとおり漢方薬局は保険が適応されません。同じものなら安い方がイじゃん！というのはごもっともですが、そもそも同じものとは言えない点がありますのでそのご説明をさせていただきます。

病院と漢方薬局では大きく違う点が、**まずは3つ**あります。

①ふじみ薬局の漢方薬は高品質

病院の漢方薬と言えばツ〇ラが有名ですよ。ツ〇ラをはじめ病院で扱う漢方薬のほぼ全ては「エキス顆粒」といって原料をグツグツ煮て作ったものです。一方、ふじみ薬局の漢方薬はほとんどが『**原典にもとづいた製法**』でつくられたものです。**丸剤**(麻子仁丸、八味地黄丸、桂枝茯苓丸など)は、構成される生薬の中に胃を荒らしやすいものが入っているため、はちみつで練って丸くしたものを使います、**散剤**(加味逍遙散、当帰芍薬散など)は湯煎すると有効成分が減ってしまうため、生薬を粉碎したものをそのまま飲むのが本来の飲み方です。**煎剤**(葛根湯、人参湯など)は、煎じることで効き目がよくなるものです。当店の〇〇湯は顆粒になっていますが、賦形剤を極力つかわないことで、**効果が良い**とのこと。実際、病院でもらっていたものと同じ漢方薬をうちのに**変えただけで効果が出た症例**もあるほどです。(エキス顆粒は**揮発性の有効成分が激減**してしまうため)

漢方薬を構成する原料に関してもこだわりがあります。メーカーによって**産地や品質が違う**ので、Aという生薬は〇〇社のものを、Bは△△社のものを、と言った感じで選り分けています。食品(ブランド肉や野菜)にグレード(産地や味などの品質の違い)があるのと同じですね。

今年に入って漢方生薬の値段が高騰しました。中でも人参の値段は2～3倍にもなりました。もちろんその影響で漢方薬の値段も少し上がっています。ここで気になるのは、病院の漢方薬の値段ですよ。保険適応の薬には「**薬価**」といって価格が国によって決められています。しかもこれらの薬が**医療費を圧迫**させていることもあり年々**薬価は安く**されています。

仕入れ値は上がっているのに売値は下げられている??? これって、市場原理として無理ですよ。では、人参など高級生薬が入っている漢方薬は売れば売れば赤字になるの? そんなことになってないのですから、そこには色々なカラクリがあるのかも。 (詳しくはここには書けない!) (※漢方薬の原料は貴重な天然資源です。高いのは当然なのです。) おっと、もうスペースがなくなっちゃいました。ということで残りの2つ**②漢方処方**の**決め方**(病院は病名漢方。ふじみ薬局は四診で体質を見極めて**処方**を決める) **③標準治療とオーダーメイド治療** は次回のお楽しみに!!!

<血液サラサラって。。。>

最近気になること。

血液がサラサラになる、ってどういうことなんでしょうか?

この「**血液サラサラ**」というのは人によってその言葉の意味が全然ちがってくるので厄介な言葉ですね。病院で**血液をサラサラにする薬**(とされている)のはワーファリンやバイアスピリンのような抗血栓薬。血が固まらなくなるのでサラサラになる、とされているのですが、これは決して**健康的なサラサラ**ではありませんよね。(副作用も心配。。) 東洋医学では、多少解釈は違いますが「**瘀血(おけつ)**」という状態が血液の流れが悪い状態を意味します。(舌の裏の**血管の太さ**が目安になります)

で、もちろんこの**瘀血**を解決する漢方薬もあるわけですね。

で、この**西洋薬と漢方薬**がどちらも**同じ効果か**と言われると、全然違います。上述のように西洋薬はあくまで「**血栓ができないように**」という目的だけです。一方漢方薬では**瘀血**が原因で起こる症状に対しても**効果を発揮**します。中でも多いのは**肩こりと頭痛**。これに対して漢方薬の**血液サラサラ薬**はとても良く効きます。(私もパソコン作業をやりすぎると眼精疲労と頭痛に襲われるのでよく飲みます)しかし、西洋薬の血液サラサラ(とされている)薬はこういった随伴症状には**効果がありません**。西洋薬を飲んでいたので**脳梗塞、心筋梗塞**が再発したというのによく聞きますよね。その点、**漢方薬は体質も治っていく**のでより良しです。